

- 問1 古代の税制に関する学習資料において、農民の負担についてまとめた以下の文の空欄にあてはまる内容として、正しいものはどれですか。「農民にとって、特産品や布を納めること自体も大変でしたが、さらにそれらの品物を（ ）ことが大きな負担となっていました。」（2016年 富山県公立入試 類似）
1. 他人の分も代行して生産する      2. 自ら都まで運ぶ      3. 決められた期日までですべて自分で収穫する      4. 役人の目の前で規格通りに作り直す
- 問2 律令制度下の土地の仕組みにおいて、6歳以上の男女に与えられ、死後には政府へ返却することが定められていた土地を「口分田」と呼びます。この口分田の運用実態に関する説明として正しいものはどれですか。（2018年 香川県公立入試 類似）
1. 売買や譲渡が自由に行える、個人の完全な私有地であった。      2. 新しく開墾した者が、永久に自分の土地にできる制度に基づいた土地であった。      3. 6年ごとに作成される戸籍に基づいて、人々に配分される仕組みであった。      4. 本人が死亡した後も、子孫が代々耕作権を引き継ぐことが認められた。
- 問3 奈良時代に、中国の王朝にならって貨幣が鑄造された背景や、当時の経済状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2017年 三重県公立入試 類似）
1. 律令国家としての体制を整えるため、唐の制度を参考に貨幣を鑄造し、平城京に市を設けて流通を図った。      2. 武家政権の経済基盤を固めるため、唐から伝わった技術を用いて、金・銀・銭の三貨制度を平城京で確立した。      3. 日本独自の商業文化を発展させるため、平城京で楽市・楽座を行い、唐の貨幣を禁止して国産貨幣を流通させた。      4. 宋との貿易を拡大させるため、平城京の市で使う共通通貨として、大量の銅銭を中国から輸入した。
- 問4 大宝律令によって確立された地方行政制度において、中央政府から全国の各「国」に派遣され、その地域の政治、徴税、裁判などを統括した役職として正しいものを選択してください。（2022年 熊本県公立入試 類似）
1. 防人      2. 国司      3. 里長      4. 郡司
- 問5 班田収授法において、6歳以上の人民に割り当てられた土地の名称として正しいものはどれですか。（2026年 大阪府公立入試 類似）
1. 荘園      2. 口分田      3. 公田      4. 名田
- 問6 律令制の崩壊過程において、農民が税負担から逃れるためにとった行動のうち、戸籍そのものを偽るのではなく、本籍地を離れて他国へ移動し、他人の家や寺社などに身を寄せる行為を何といいますか。（2018年 徳島県公立入試 類似）
1. 偽籍      2. 浮浪      3. 防人      4. 班田
- 問7 奈良時代、律令国家の体制が整う中で、中央政府が地方の実績や資源を把握するために各国に命じて作成させた、地域の自然、産物、伝説などを記録した報告書を何といいますか。（2017年 岐阜県公立入試 類似）
1. 古事記      2. 日本書紀      3. 風土記      4. 万葉集
- 問8 8世紀初めに、古くから伝わる神話や伝承を整理し、天皇による国内支配の正当性を示すことを目的として編纂された歴史書を選びなさい。（2015年 山口県公立入試 類似）
1. 古事記      2. 万葉集      3. 風土記      4. 日本書紀
- 問9 奈良時代、聖武天皇が疫病の流行や政治的な混乱を鎮め、社会を安定させるために、仏教の力で国を守るという思想に基づいて全国各地に建立を命じた寺院を何といいますか。（2022年 香川県公立入試 類似）
1. 国分寺      2. 禅福寺      3. 延暦寺      4. 法隆寺
- 問10 奈良時代の律令制において、男女ともに負担することが義務づけられていた、田の面積に応じて収穫された稲を納める税を何と呼びますか。（2025年 岩手県公立入試 類似）
1. 租      2. 庸      3. 雑徭      4. 調
- 問11 奈良時代の遺跡から発見された資料において、ある木の板に「産地・品目・送り主」の情報が記されていました。このような「木簡」と呼ばれる資料から読み取れる、当時の社会の様子や仕組みに関する説明として、背景や目的をふまえて最も適切なものを選びなさい。（2024年 岐阜県公立入試 類似）
1. 仏教の教えを全国に広めるため、聖武天皇が各地の国分寺へ経典の内容を簡略化して記した木板を配布した。      2. 租として徴収された米を海外へ輸出するために、港で積み荷を管理する台帳として木簡が利用されていた。      3. 律令国家の仕組みにより、各地の特産物を納める調や、労役の代わりに布などを納める庸が、全国から都へ集まっていた。      4. 防人として九州へ派遣される農民が、自らの氏名や出身地を忘れないよう、政府が公式な身分証として配布していた。
- 問12 奈良時代、朝廷が東北地方の支配を広げるために、現在の宮城県に設置した行政と軍事の拠点として正しいものはどれですか。（2021年 群馬県公立入試 類似）
1. 安土城      2. 多賀城      3. 大宰府      4. 国分寺
- 問13 律令時代の地方行政制度において、地方を統治するために設置された行政区分の名称とその読み方の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2023年 青森県公立入試 類似）
1. 最も広い範囲を「国（くに）」、その下に「郡（こおり）」、末端に「里（り）」を置いた。      2. 最も広い範囲を「国（くに）」、その下に「里（さと）」、末端に「郡（むら）」を置いた。      3. 最も広い範囲を「道（どう）」、その下に「府（ふ）」、末端に「県（あがた）」を置いた。      4. 最も広い範囲を「藩（はん）」、その下に「郡（ぐん）」、末端に「村（そん）」を置いた。
- 問14 奈良時代、地方の状況を把握するために政府の命令で作られた地理志があります。各国の自然環境、産物、土地の由来や伝承などが記録されたこの書物を何といいますか。（2026年 奈良県公立入試 類似）
1. 万葉集      2. 日本書紀      3. 風土記      4. 古事記